

令和7年度 教職実践研究フォーラム 2026.2.28



今年度は、現職教員学生9名と学部卒学生4名の計13名の実践研究報告を3つの分科会に分かれて実施しました。県内外から多くの方にご参加いただきました。

活発な質疑応答が行われ、参加者からは「来年度の参考になりました。」「このフォーラムに参加すると、いろいろと現場での課題について考えさせられることが多いです。」「どの報告も勉強になりました。自分も実践したいと感じましたし、これから頑張ろうと刺激になりました。」「特別な配慮が必要な子どもたちが多くなっている現状で、自分



の立場でできることは何かを考える機会となりました。」といった声をいただきました。



午後からは、これまでに修了された修了生を対象に「教職大学院修了生研究交流会」を開催しました。多くの修了生にご参加いただき、修了後もつながりが深まっていることを実感しました。



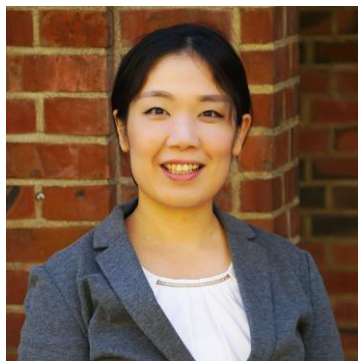
香川の教育づくり発表会 2025.12.25

綾歌総合文化会館アイレックスにて「香川の教育づくり発表会」が開催されました。昨年度の修了生であるフォローアップ生が、この1年間の研究成果を発表しました。

発表後の質疑応答も活発に行われ、「どの発表も自らと結び付けて聞くことができました。」「学校現場の課題解決につながる発表だった。」などのご意見をいただくことができました。



離任の挨拶



吉澤樹理



このたび、3月31日をもちまして本学を離任し、4月より同志社女子大学に着任いたします。

母から、「女性は男性の2倍働き、4倍努力しなさい」と言われて育ちました。修士課程の大学院生の頃から、その言葉を疑うことなく、がむしゃらに働いてきました。評価されなくとも、理解されなくとも、結果で示すしかない…そう思い続けてきた年月でした。

けれども、がむしゃらの先には確かに、別の景色があります。積み重ねた挑戦は、やがて自分自身の輪郭をくっきりとさせる。ここでの教育・研究の日々は、私にそのことを教えてくれました。

場所が変わっても、私の歩みは変わりません。迎合せず、怠らず、静かにしかし確実に前へ進みます。これまで支えてくださったすべての皆さまに心より感謝申し上げるとともに、本学のさらなる発展を祈念いたします。

令和7年度末をもって転出される吉澤樹理先生、ありがとうございました。

令和7年度 修了生の声

教職大学院での学びを振り返って

学校力開発コース 河田美穂(現職教員学生)

教職大学院での日々は、新たな気づきの連続でした。授業では講義に加えて活発な議論が重ねられ、自らの考えを言葉にし、他の院生の多様な意見に触れる中で、自身の視野を広げることができました。先生方の温かく丁寧なご指導は、新しいことを知る発見の喜びと、問いに向き合い考えるための土台を培ってくださったと感じています。

これまでの養護教諭として保健室を中心とした視点にとどまらず、学校全体を俯瞰しながら実践していくことの重要性を改めて学ぶことができました。また、理論に立ち返って実践を捉え直し、再び現場で試みるという往還の中で、学び続ける姿勢の大切さを実感しています。教職大学院で得た学びや人とのつながりを大切に、学校現場で子どもたちの心身の健康を支えていきたいと思えます。1年間、ありがとうございました。

教育への不安から

授業力開発コース 安田遥平(学部卒学生)

私は他大学の工学部を卒業後、この教職大学院に入学しました。教職課程は修了したものの、学校という「教育」の場が十分に理解できていないという思いを抱えていました。

この2年間を通して「理論と実践の往還」の重要性を実感し、唯一の正解がない教育の場を多角的に捉えるさまざまな視点を身に付けることができました。その結果、授業力や指導力の向上を自ら実感することができるようになりました。また、先生方や仲間との多くのご縁にも恵まれました。さらに、教員としてだけでなく、一人の人間としても成長できたと感じています。

今では、来年度からの現場を心から楽しみにしています。本当に濃く、実りある二年間でした。来年度からも初心を忘れず、学び続けてまいります。これまで支えてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

教職大学院での学びを振り返って

特別支援力開発コース 合田順子(現職教員学生)

教職大学院では、置籍校では体験したことがなかった附属特別支援学校や特別支援教室「すばる」での実習、医療機関や療育機関などの探究実習を経験させていただき、指導の先生方の専門性の深さとともに、子ども一人ひとりを大切に、行動や背景を多角的・多面的に見取り、その子に応じた指導・支援を柔軟に行うことの重要性を改めて学びました。また、自分のコースだけでなく、授業力、学校力の講義を通して、自分だけの価値観や見方・考え方にとらわれず、他者から学び、新たな視点を取り入れることやチーム学校の一員として自分の立場で何ができるのかと当事者意識をもって行動していくことの大切さを実感しました。貴重な学びの機会をいただいたこと、指導してくださった先生方・チーム10期生の仲間たちへの感謝を胸に、子どもたちや新たなチームの仲間とともによりよい未来へと歩んでいきたいと思えます。1年間ありがとうございました。

